

令和2年度 伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業実施報告書

| | |
|--|----|
| | 市 |
| | 釧路 |
| | 阿寒 |

1. 空間活用等事業

(1) アイヌ文化普及啓発事業

① ユニボイスコードの設置

平成30年度に3か所に設置した大型看板、令和元年度に設置した樹名板（46本）にユニボイスコードの貼付けをした。専用のアプリにより看板等の記載内容を4か国語（英語、繁体語、簡体語、韓国語）に翻訳する。

- ・発注先：(株)エイチ・シー・シー
- ・履行年月日：阿寒湖ニタイトーの森、柏木苗圃（令和2年9月23日設置）
阿寒湖環境省所管地（令和2年9月24日設置）



<大型看板>

<樹名板>



② 古老から学ぶ阿寒湖のアイヌ文化

長年阿寒湖アイヌコタンで暮らすエカシ・フチから、阿寒湖にまつわる昔のアイヌ民族の生活や知恵、技術の話を聞き学んでいただこうと開催した。

- ・実施日：令和2年11月20日（アイヌ文化体験講座 午前の部）
- ・会場：阿寒湖遊覧船まりも丸
- ・参加者数：22名
- ・実施者：(一社)阿寒アイヌコンサルン（講師2名）



③ かんじきを履いて阿寒湖の冬森を歩いて学ぶ

- ・実施日：令和3年2月3日
- ・会場：ニタイトーの森、環境省所管地
- ・参加者数：12名
- ・実施者：(一社)阿寒アイヌコンサルン（講師1名）



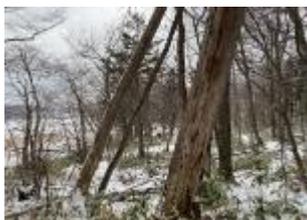
(2) 空間形成事業

①危険木・枯損木伐採

事業を展開する阿寒湖温泉地区の環境省、林野庁所管地の園路上危険除去のため、危険木と枯損木を伐採した。

- ・実施日：令和2年4月27日
- ・伐採本数：環境省所管地 枯損木3本、林野庁所管地危険木5本、枯損木7本
- ・実施者：(一社)阿寒アイヌコンサルン(延べ3名)

<危険木・枯損木伐採 4月27日>



②草刈り

事業を展開する阿寒湖温泉地区の環境省、林野庁所管地、ニタイトーの森の園路整備のため草刈りを実施した。

- ・実施日：令和2年6月28日 (1回目) ~ニタイトーの森園路草刈り
- 6月30日 (2回目) ~環境省所管地園路草刈り
- 8月28日 (3回目) ~ニタイトーの森・環境省所管地園路草刈り
- 11月1日 (4回目) ~ニタイトーの森・環境省所管地園路草刈り
- ・実施者：(一社)阿寒アイヌコンサルン(延べ12名)

<園路草刈り 6月30日>

<園路草刈り 11月1日>



③有害(スズメバチ)駆除

阿寒湖温泉地区の環境省所管地にスズメバチが営巣していることを8月26日に発見し、専門業者に発注8月27日に駆除。8月27日から8月31日まで半径約50mを立ち入り禁止とした。

- ・実施日：令和2年8月27日
- ・実施者：釧路市

<有害(スズメバチ)駆除 8月27日>



2. 自然素材育成事業

アイヌ文化における有用植物の育成を図ることを目的とし、アイヌの人々が伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材の栽培地（自然素材活用空間）を平成30～令和元年度に整備し、北海道教育大学名誉教授の協力も仰ぎ、有用植物の育成を行った。

(1) 播種・植込み・採取

・場所：柏木苗圃（旧柏木小学校隣接地）

- ① 4月15日 ヤブマメ播種634粒、イケマ根植込み64株
令和元年度移植した、ニリンソウ、オオハナウド、エゾイラクサ、
ギョウジャニンニク発芽確認



- ② 5月14日 ニチモク林産から寄贈された幼木の移植
(ハンノキ6株、シラカバ6株、ナラ、カツラナナカマド、アオダモ)



- ③ 10月21日 ヤブマメ採取・播種
採取：地上種 42.5g (1,900粒) 地下豆 410g (430個)
播種：200粒



(2) 追肥

- ① 5月27日 追肥（油粕5Kg×2袋）、除草作業
ニリンソウ、ギョウジャニンニク、エゾイラクサ成長確認
ヤブマメ手入れ



(3) 有用植物に関する視察

釧路市動物園内の北海道ゾーンを中心に、有用素材育成事業との連携の可能性を検討するため、有用植物の植生状況について視察を行った。

- ・実施日：令和2年5月31日
- ・場所：釧路市動物園
- ・参加者：釧路アイヌ協会（3名）、北海道教育大学名誉教授



(4) ガマの育成（水耕栽培）

平成30年度に文化庁の許可を得て春採湖よりガマの穂を採取し、ガマのバケツ試験栽培を実施し、一部を令和元年10月に春採公園（トンボ池）に移植したものの、明らかな成長が見られなかった。また、バケツで継続観察としていた5鉢のうち2鉢について成長が確認された。引き続きガマの生育を観察していく。



(5) 拠点管理

有用植物の栽培地である柏木苗圃の周辺環境整備のため、草刈りを実施した。

実施日：令和2年7月30日、31日、8月18日（有用植物周辺除草作業）

10月9日、10日

実施者：釧路アイヌ協会

<周辺草刈り 10月10日>



3. 体験交流事業

アイヌ民族の伝統や文化に対する理解を推進するため、公募により一般市民向けの体験交流会を実施した。

(1) アイヌ刺繍体験講座

- ・実施日：令和2年7月18日
- ・会場：釧路市生涯学習センター（まなぼっと幣舞）7階 705・706号室
- ・参加者数：18名（51名の応募）
- ・内容：アイヌ文様を刺繍した「鹿角のボタン付き携帯ティッシュ入れ」製作
- ・指導：釧路アイヌ協会（講師3名）



- ・実施日：令和3年1月30日
- ・会場：釧路市生涯学習センター（まなぼっと幣舞）8階 802・803号室
- ・参加者数：24名（7月18日参加できなかった方を対象）
- ・内容：アイヌ文様を刺繍した「鹿角のボタン付き携帯ティッシュ入れ」製作
- ・指導：釧路アイヌ協会（講師5名）



(2) アイヌ伝統料理体験交流会

- ・実施日：令和2年9月4日
- ・会場：釧路市生涯学習センター（まなぼっと幣舞）6階 クッキングスタジオ
- ・参加者数：17名（20名の応募）
- ・内容：ユクカムオハウ（鹿肉の汁物）、サタマム（イナキビ入りご飯）、
チマチェブ°（鮭の塩焼き）、キトピロラタシケブ°（ギョウジャニンニクとツブの和え物）
わらびのチタタブ°、シケレペ茶（キハダの実のお茶） 調理・実食
- ・指導：釧路アイヌ協会（講師1名）



(3) アイヌの伝統漁法 マレク漁を学ぶ

鮭の特別採捕許可申請を北海道に提出し許可を得て体験交流会の実施を試みたものの、実施候補日において悪天候による川の濁りが生じ鮭の遡上が見られなかったことから、アイヌ文化体験講座の中で「アイヌ民族伝統漁法 マレク漁を学ぶ」を開催した。

- ・実施日：令和2年11月20日（アイヌ文化体験講座 午後の部）
- ・会場：阿寒町緑町生活館
- ・参加者数：20名
- ・内容：アイヌ民族のサケの伝統漁法である「マレク漁」について
- ・指導：阿寒アイヌコンサルン（講師 白糠アイヌ協会1名） ※リモートによる講演



(4) 事業名：アイヌ伝統遊び体験交流会

- ・実施日：令和2年12月12日
- ・会場：交流プラザさいわい 多目的ホール
- ・参加者数：大人14名、子供6名、合計20名
- ・内容：アイヌ文様切り絵、伝統楽器体験、ねずみのおどり
- ・指導：釧路アイヌ協会（講師3名）



(5) 事業名：アイヌ伝統料理体験講座

- ・実施日：令和3年1月22日
- ・会場：まりむ館 調理実習室
- ・参加者数：15名
- ・内容：ハマナス アマム（ハマナスのごはん）、シプシケップ アマム（イナキビのごはん）、ユクオハウ（鹿肉の汁物）、あら汁、ラタシケップ（かぼちゃとキハダの実の混ぜ煮）、イモチョケップ（じゃがいもとイクラの和え物）、イトウのルイベ、チシルイモ（イモの団子）
- ・指導：阿寒アイヌコンサルン（2名）



4. 視察

ガマ育成・採取（当別町・平取町）

ガマの育成と採取、乾燥の工程を学ぶため、平取町アイヌ施策推進課アイヌ文化保全対策室が実施するガマ採取事業に参加し、育成地である当別町で600株のガマの採取と平取町にて洗浄の体験作業を行い、乾燥や種苗育成の視察を行った。

- ・実施日：令和2年9月13日～令和2年9月15日
- ・参加者：釧路アイヌ協会（3名）、（一社）阿寒アイヌコンサルン（3名）



5. 釧路・阿寒イオル協議会の開催

日時／会場：令和3年2月19日／釧路市生涯学習センター8階会議室 801

参加委員：10名中9名

- 議題：①釧路地域イオル再生事業について
②令和2年度事業計画実施状況について
③令和3年度の事業について
④その他

6. その他（広報活動）

(1) Facebook 令和2年度13回更新（2021.2.19時点）



(2) 随時、各事業の報道各社への取材依頼等

<アイヌ刺繍体験講座7月19日釧路新聞>

<アイヌ伝統遊び体験交流会12月18日北海道新聞 夕刊>



<アイヌ文化体験講座 11月27日北海道新聞 夕刊>

<アイヌ伝統料理体験講座 1月23日釧路新聞>



<アイヌ文化体験講座 2月4日釧路新聞>



(3) チラシ・ポスター作成

